

全国技術連盟のあり方 についての検討状況

平成25年5月22日
全国農村振興技術連盟

検討の経緯

平成24年度

- 5月 企画委員会、委員会、総会
- ～7月 各地方連盟へのアンケート
- 9～11月 各地方協議会での意見交換
- ～H25.3月 各地方協議会での意見集約
- 3月 地方協議会長との意見交換

平成25年度

- 5月16日 企画委員会
- 22日 委員会、総会

アンケートの結果

- 会員の多くは主に会誌と名簿を通じて全国連盟とつながっていると感じている。
- 会誌は会員を中心に読まれており、現状維持でよいとの回答を中心に、充実、縮小すべきとの回答もあった。
- 中央研修会については、参加が難しくなっており、地方開催を検討すべきとの意見がかなり見られた。
- 地方連盟では独自に様々な活動をされているが、全国連盟との連携に関してはほとんど意見がなかった。
- 会員の現状周知については、むしろ連盟の役割や活動実態、会員メリット等をPRすべきとの意見が多くあった。
- 全国連盟が強化すべき活動として、外部への広報、保全・管理や地域づくりに向けた人材育成などに加え、経費節減やIT技術の積極的活用などの意見が多くみられた。

意見交換会の結果 ～ 参加者の声 ～

- 中堅クラスの意見交換の機会がなかったのでこのような集まりは新鮮
- 局や他県の人を知ることができた
- 他県のやり方を参考に新規採用や総合土木職採用の問題に取り組みたい
- 技術継承の重要性に改めて気付かされ、幹部に提言したい
- 県庁内から県民まで私たち技術者集団ことを知ってもらおう努力を強めるべき
- 地域振興に農地・水を活用したい

今後の対応方向（提案）

1. 活動内容の充実

1-1 会誌/ホームページの充実

1-2 研修の地方展開

1-3 広報活動支援の強化

1-4 地方協議会/地方連盟との連携強化

2. 会員対策

2-1 会員への連盟の役割の周知/活動への参加促進

2-2 非会員の入会促進

2-3 農地・水組織への購読会員加入の呼びかけ

1-1 会誌/ホームページの充実

○ 会誌の充実

- 新技術紹介コーナーを設け、会員が関わった技術を紹介
(紹介様式を設け、情報提供会員の負担を最小限にする)

○ ホームページの充実

- 従来、目次に限定していた会誌バックナンバーを全文掲載
(会員のみパスワードを入力すれば閲覧可能に)
- 会員からの質問を会員が答えるシステムの導入
(前提となる「回答への会員の協力」について検討が必要)



情報提供・共有の場の拡充

会員相互の情報交換の場の新設 (連帯感の向上)

会員限定サービスの提供による会員メリットの向上

1-2 研修の地方展開

- 中央研修をサマーセミナー（7月）と東京フォーラム（2月）の2回とし、地方巡回型の研修を試行
- 地方巡回型研修の企画・運営は、地方協議会と連携



研修受講機会の増大
参加者の時間的・経済的負担の軽減
研修テーマ選定への地方連盟の意向反映

1-3 広報活動支援の強化

～ 実施の中核は地方協議会/地方連盟 ～

- 広報大賞受賞地区の取り組みを会誌に掲載
(効率的/効果的な広報への工夫などを周知)
- 連盟会員の広報の手引きを作成・配布
(少ない費用で効果の高い広報を解説)
- 広報ワークショップの開催



優れた広報手法の共有
広報効果の向上
国民・県民の支援の増大

1-4 地方協議会/地方連盟との連携強化

○ 地方協議会との連携促進

- 地方巡回型研修の企画・運営協力を通じて
- 協議会単位の意見交換会/ワークショップを通じて

○ 地方連盟との連携促進

- 地方連盟会誌、記念行事を通じて
- 意見交換会参加/ワークショップ° 支援を通じて
- 研修企画協力を通じて（講師紹介・斡旋）



連帯感の醸成

会員の連盟活動への参加機会の増大

非会員の入会促進

2-1 会員への連盟の役割の周知 /活動への参加促進

○ 連盟紹介パンフの作成と活用

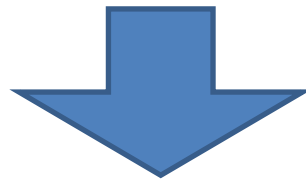
- 連盟紹介冊子（案）の提案（標語を含む）
- 冊子（案）を活用した、地方協議会、
地方連盟での意見交換
- 意見交換結果を反映した冊子の印刷・配布



会員間の意識共有と活動内容の周知
「標語」を通じた自己確認
連盟運営への会員の参加促進

2-2 非会員の入会促進

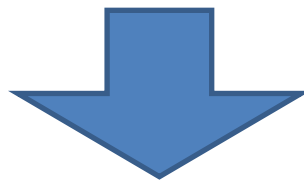
- 連盟活動の紹介
 - 連盟紹介冊子（案）を活用した、活動内容の紹介・周知
- 連盟行事の体験機会の提供
 - 全国、地方連盟などによる各種行事への参加の呼びかけ



非会員の連盟の活動内容への理解促進
非会員の自発的な参加意欲の啓発

2-3 農地・水組織への購読会員加入の呼びかけ

- 農村振興リーダー研修参加経験者を通じた呼びかけ
 - ・ リーダー研修参加者の所属する農地・水協議会に、地方連盟と連携して、連盟会誌の購読を勧誘
(個人会員でなく、協議会を購読会員として登録)
- 農地・水関連情報を必要とする協議会への呼びかけ
 - ・ 農地・水シリーズの抜粋を活用した会誌購読の斡旋



連盟活動への理解の増進
リーダー研修への参加促進
個人会員としての連盟入会の機運醸成

我が国の農業・農村の未来に向けて！

(連盟会員で共有したい思いや行動を標語で表しました)

○ 「農村振興」の目的に向かってチャレンジしましょう！

農村振興という目的の実現に向け、農業土木のチャレンジ精神と知恵を活かし、果敢に挑戦していきましょう。

○ 農村の皆さんと夢を描き、共に歩みましょう！

農村振興の主役は農村の皆さん、共に地域の過去と現在を見つめ、将来の夢を語り、歩んでいきましょう。

○ 世代を超えて知恵をつなぎ、皆で新たな力をつけましょう！

農業土木としての能力を先輩から受け継ぎ、農村振興に必要な新たな能力を協力し合って身に着けましょう。

○ 連携の輪を広げ、焦らずしっかり進みましょう！

多くの組織や人々と手を携え、夢の実現に向かって工夫をこらし、一歩一歩着実に進んでいきましょう。

○ 農地・水と私たちのことを広く知ってもらいましょう！

農地や水路は放置すればたちまち荒れてしまいます。常に見守り手を加え続ける私たちの役割に気付いていただく取り組みを進めましょう。

我が国の農業農村の未来に向け、
全国連盟は会員の皆さんとともに
歩み続けます！

